

IPA第25回大会

INTERNATIONAL PUBLISHERS ASSOCIATION
THE 25th CONGRESS

報告書

1996年4月22日(月)～26日(金)
スペイン・バルセロナ、ホテル・アーツ



1996年7月

目 次

IPA百周年は出版の変革期	1
(社)日本書籍出版協会 理事長 渡邊 隆男	
大会概要	2
日 程	3
決 議	12
①校訂版の保護に関する決議	
②図書館員との協力に関する決議	
③国立図書館に対する納本に関する決議	13
④ISBNコードに関する決議	
⑤各国の「出版の自由委員会」設立に関する決議	14
⑥検閲に関する決議	
⑦教育出版の奨励に関する決議	
⑧出版物に対する減税についての決議	15
⑨書店員及び図書館員の研修に関する決議	
⑩禁輸政策から書籍を除外することに関する決議	
⑪読書推進に関する決議	16
⑫著作権の執行に関する決議	
⑬書物供給に対する援助に関する決議	17
⑭「世界本の日基金」に関する決議のための提案	
各国別登録者数	18
大会参加者	19
国際出版連合 百年のあゆみ	20
世界本の日	21
日本からの参加者の発言	22
①「技術開発」(分科会合同会議) 議長=渡邊 隆男	
② 前田 完治(三修社)「異文化間交流(アジアの出版分科会~全体会議)」	24
③ 今村 正樹(偕成社)「児童書出版者の創造的役割」	25
④ 山下 正(東京大学出版会)「アジアの出版」	27
⑤ 鈴木 正則(小学館)「ニューメディアと本の将来」	30

IPA百周年は出版の変革期

出版産業は過去数世紀にわたって、文化の普及のため、人類に貢献してまいりました。他の産業と比べて小規模な出版業は、経済的には決して恵まれてはいないにもかかわらず、私たちは出版業を天職とする伝統に、むしろ誇りをもって、いまま努力を続けております。

100年前に設立されたIPAが「言論の自由」「著作権の保護」そして「出版物の自由な流通」を主題として活動してきたこと、またその先駆者達の高い見識と洞察力とに対して深い敬意を捧げます。

100年前の世界人口は7億でありましたが、今や60億人に達しようとしています。そして出版物の点数も数量も同様に増大を続けております。出版業は今後果たして従来のシステムのみで御しきれぬでしょうか。加えて、将来の出版はデジタル化された情報を扱います。また、パーソナルコンピュータの普及は恐るべき勢いであります。当然のことながら出版物の「作り方」「流通」にも劇的改革が起こりつつあります。「デジタル情報」そのものの売買もまた盛んになるはずで

アメリカのゴア副大統領が提唱する「情報スーパー・ハイウェイ」は、1993年に発表されました“National Information Infrastructure Agenda”によって世界的規模で発展しております。これを受けた民間側では「デジタル革命」を起こそうという基本的な合意ができたと聞きます。つまりこれからは情報も通信もすべてデジタル信号の処理が基盤となり、その上に社会的インフラストラクチャーの整備が世界規模で行なわれ、「マルチメディア産業」が振興するでしょう。さらにまた「インターネット」の普及がめざましく、このネットワークが次の世代の出版の一部を占めるのも確実であります。

一方、われわれの出版の現状は、100年かけて普及してきた著作権の思想が、ようやく全世界に認知されつつありますが、途上国を残しているのも周知のとおりであります。ペーパーメディアの出版の伝統的な流れに対して、マルチメディア産業に巨大な投資を目論む各国政府と民間の第三資本がいったいどのような影響をもたらすのでしょうか。つまり、アルビン・トフラーがかつて提唱した「第三の波」の改革が、現在の伝統的出版の上にも起ころうとしているのであります。技術革新というものは常に加速度をもって展開します。これまでの10年は5年で、5年は2年でというふうに進歩を果たすでしょう。伝統的なペーパーメディアの出版は消滅するはずはありませんが、その前に私たちは新技術を積極的に取り入れることもまた必要であることは論をまちません。

本来、著者の創造的な成果をより広く、永く伝達することを護るための制度である著作権保護の方法についても、出版というものの原点に立ち返って大きな見地からそのあり方を再構築しなければなりません。

IPAの100周年は、奇しくも出版産業にとって劇的な変革期となりました。今こそ私たち出版人はIPA加盟国が手を携えてこの変革期に対応すべきときではないでしょうか。



社団法人 日本書籍出版協会
理事長 渡邊 隆 男



大会概要

国際出版連合（IPA）の創立100周年を祝う第25回大会は、1996年4月22日（月）から26日（金）まで、スペイン・バルセロナ市で開催された。世界49カ国の出版協会および3国際機関から合わせて約620名の出版者が参加し、日本からも80名（同伴者等を含む）が参加した。

今回は「出版は自由な創造と進歩の礎」を大会の基調とし、伝統的な紙の上の出版と、デジタル化時代における新しい出版とが、今後どのように共存し発展していけるかを主要テーマとした。

開会式には、スペイン国王カルロス1世ならびにソフィア王妃の両陛下も臨席された。基調講演として、ウンベルト・エーコ氏が「出版者の社会的役割 — 書物からマルチメディアまで」と題して講演した。

その後4日間にわたる会議では、「出版と公的規制」「メディアの集中化と相乗効果」「出版者の創造的役割」「技術開発 — 電子図書から情報ハイウェイまで」「ニューメディアと本の将来」「出版市場」「異文化間交流」等をテーマとした全体会議とそれぞれのテーマ別の分科会が開かれ、活発な議論が行われた。

日本からは、渡邊隆男・書協理事長が「技術開発」に関する全体会議の議長を、前田完治・国際委員長が「アジアの出版」分科会の議長を務めたほか、今村正樹（偕成社）、山下正（東京大学出版会）、鈴木正則（小学館）の3氏がそれぞれのテーマにつき発表を行った。

閉会式には、事前に予告されていなかったがサルマン・ラシュディ氏がものものしい警備の中を出席し、自由な出版を守るために出版者とともに闘っていききたいと発言し、満場の拍手を浴びた。

大会は、4日間にわたる討議の結果を14の決議にまとめ、発表した。最後に、今大会を最後に退任するフェルナンド・グエデス会長がこれまでの各役員、会員団体の協力に感謝を述べ、1995年に東京で行われたアジア・太平洋出版連合（APPA）フォーラムでの任継愈氏の講演から一部を引用し、世界各地域間の協力によって、さらにIPAを発展させていってほしいとの希望を表明した。なお、今後4年間にわたり会長を務めることになるのは、フランス出版協会のアラン・グルンド氏である。

大会期間中の4月23日は、昨年11月のユネスコ総会において、「世界本と著作権の日」に制定されており、その第1回を祝う催しも開催された。この日は、バルセロナを中心とするカタロニア地方では、「サンジョルディの日」として、70年前から人々が本とバラを贈りあう習慣がある。当日は、中世の面影を残すバルセロナ旧市街を貫くランブラス通りに、書店の露店が出され、大変な賑わいを見せていた。

次回の大会は、2000年に南半球では初の大会として、アルゼンチンのブエノスアイレスで開催される。



日 程

4月20日(土)

10:00 - 19:00 STMセミナー

4月21日(日)

9:00 - 13:00 STM理事会
 14:00 - 16:00 IPA常任理事会(EC)
 16:30 - 18:30 IPA国際委員会(IC)

4月22日(月)

8:30 - 9:00

プログラム紹介

9:00 - 10:30

読書・出版と公的規制

テーマ：読書の推進。公的補助金。税制問題。自由な社会における公的および私的出版者の役割。

議長：A・ワイズフロッグ(ブラジル)

コーディネーター：カルメン・アルボルク(スペイン)

パネリスト：ミゲル・デ・ラマドリッド(メキシコ)、アナ・M・カバネラ(アルゼンチン)、フェデリコ・I・ソレル(スペイン)

基調講演「読書は人を洗練する — 出版物頒布の影響に関する研究成果」

講師：K・スタノビッチ(カナダ、オンタリオ教育研究所、心理学専攻)

12:00 - 13:00

開会式

スペイン国王・カルロス1世ならびにソフィア王妃が出席



会場：ホテルアーツ(右)



カルロス国王(右から2人目)臨席の開会式



グエデスIPA会長

基調講演「出版者の社会的役割 — 書物からマルチメディアまで」

講師：ウンベルト・エーコ（イタリア）

- i ヘルメスと呪術 — 口承から文字へ
- ii 説教師フローロ — 大聖堂から印刷された聖書に
- iii マクルーハン — TV時代の到来
- iv コンピュータ時代 — グーテンベルクの銀河系への回帰
- v ハイパーテキスト
- vi 画像対文字
- vii ハイパーテキストの3つの種類
 - 書物 — 限定されたテキスト — 解釈の多義性
 - ハイパーテキスト — 改変の可能性

13:00 - 15:00

昼食

15:00 - 16:30

メディアの集中化と相乗効果（全体会議）

テーマ：情報産業における出版者の役割。製品の流布のための利点。生産と市場との相乗効果。大量消費出版物におけるニューメディア。学術的出版物におけるニューメディア。

議長：チャールス・エリス（米）

コーディネーター：ヨセフ・ヴァロール（スペイン）

パネリスト：ステイブン・ホワイト（英）、A・ゴージュ（インド）、ホセ・M・ララ（スペイン）

15:00 - 16:30

電子化時代の標準化（全体会議）

テーマ：電子的な流通。書籍販売における戦略的問題。デジタル著作物の保護における共通コード。著作権の尊重。テレオーダリング・システム。

議長：ハルトムット・ヴァーラベンス（独、ISBN国際協議会）

パネリスト：ブライアン・グリーン（英）、ダニエル・ジャーベ（カナダ）、マルセル・コデルチ（スペイン）、

17:00 - 18:30

出版者の創造的役割（分科会）

①STM

議長：ジョン・ディル（米）

パネリスト：ロバート・キャンベル（英）、アリソン・ハリスン（米）、ユーゴー・セッツェル（メキシコ）

②文学

議長：ミヒャエル・クルーガー（独）

パネリスト：イストバン・バルト（ハンガリー）、ホルゲ・ヘラルド、（スペイン）、インゲ・フェルトリネリ（伊）、クリスチャン・ブルゴワ（仏）

③大学向け出版

議長： T・ベッケル＝ニールセン（デンマーク）

パネリスト： ラルス・アルデン（ノルウェー）、ミマ・ガストーニ（伊）、アルトゥーロ・ベラスケス（メキシコ）

④教科書

議長： ジョルジュ・ホヨス（ベルギー）

パネリスト： パープロ・ラルソン（スウェーデン）、H・S・アブドラ（マレーシア）、R・C・ゴビル（インド）、B・バン・ルーエン（南ア）、エミリアーノ・マルティネス（スペイン）

⑤児童書

議長： ホルゲ・デルカデル（スペイン）

パネリスト： 今村正樹（日）、
ロベルト・シュワット（アルゼンチン）、
クロード・ド・サンバンサン（仏）



今村正樹氏

⑥音楽

議長： アーノルド・プロイド（米）

パネリスト： ゴドfrey・ルスト（英）、ジャン＝マニエル・M・スカラノ（仏）

21:00 -

IPA100周年記念晩餐会 — 100周年の出版社表彰

（於・サロン・マルケ・ド・コミラス、海洋博物館内の代表的ゴシック建造物）



IPA百周年記念晩餐会

4月23日(火)

9:00 - 10:30

出版者の創造的役割(全体会議)

議長： ジョン・ディル(米)

コーディネーター： ホルゲ・ヘラルド(西)

パネリスト： T・ベッケル＝ニールセン(デンマーク)、ジョルジュ・ホヨス(ベルギー)、ホルゲ・デルカデル(スペイン)、アーノルド・プロイド(米)

11:00 - 12:00

技術開発 — 電子図書から情報ハイウェイまで(分科会)

① 電子出版における付加価値

議長： セルジュ・エロール(仏)

パネリスト： フランス・ヴッシュェール(オランダ)、ブライアン・ブルンデン(英)、ブランカ＝ロサ・ロカ(スペイン)

② 著作権とマルチメディア

議長： ハーマン・スプライト(オランダ)

パネリスト： デートリッヒ・ゴッツ(独)、キャロル・リッシャー(米)、W-D・フォン・ルシアス(独)、マリア・カペラ(スペイン)

③ 新時代における小規模出版社の役割

議長： ホセ・グティエレス・デ・ラ・トーレ(スペイン)

パネリスト： ハロルド・ヘッカー(独)、マルティン・ズニデルシク(スロベニア)、フランシスコ・アルゲレス(スペイン)、J・レギナ(スペイン)

12:00 - 13:30

技術開発(分科会合同会議)

議長： 渡邊隆男(日)

コーディネーター： ブランカ＝ロサ・ロカ(スペイン)

パネリスト： S・エロール(仏)、ハーマン・スプライト(オランダ)、ホセ・グティエレス・デ・ラ・トーレ(スペイン)、チャールス・クラーク(英)、ミハリー・フィチョール(WIPO)



技術開発全体会議
(中央＝渡邊議長)

13:30 - 13:45

特別ワークショップ「ブックデイ」のための紹介

マニュエル・バスケス・モンタルバン (西)

13:45 - 15:45

昼食

15:45 - 19:00

特別ワークショップ「ブック・デイ」

20~25人ごとのグループに分かれ、バルセロナの出版社のガイドによって、本の市が開かれているランプラス通りを中心にして、バルセロナ市内をバスで巡った。

(⇒ 21頁「世界本の日」参照)

19:30 -

第一回「世界本の日」祝賀のためのレセプション

(カタルーニア自治政府大統領主催)

(於・カタルーニア自治政府庁、ゴシック地区)



バルセロナのシンボル
サグラダ・ファミリア教会

(中上)(右)
「世界本の日」の
ランプラス通りの賑わい
(中下)
「世界本の日」ポスター

4月24日(水)

9:00 - 10:30

販売市場(全体会議)

テーマ：自由価格対定価。GATT後の図書販売とWTOの設立。言語的および政治的親近感による共通市場。共同出版。単一の世界市場。海賊版と違法複製

議長：ジョバンニ・メルリーニ(伊)

コーディネーター：ピーター・メイヤー(米)

パネリスト：ホルゲ・ナベイロ(アルゼンチン)、クロード・シェルキ(仏)、ナ・チュンホ(韓)、クライブ・ブラッドレー(英)、ジョセフ・L・モンリアル(スペイン)

11:00 - 12:30

情報管理と規制問題(全体会議)

テーマ：出版の自由と検閲。著作権および情報ハイウェイにおけるその他の自由を保証するための手段。情報の独占と情報産業。

議長：オーレ・ブスク(デンマーク)

コーディネーター：J・L・セブリアン(スペイン)

パネリスト：ジャイルス・ド・ラ・マレ(英)、A・アベリチェフ(ロシア)、ヘザー・フローレンス(米)

12:30 - 13:30

異文化 一文化を超えた出版者の役割。異なる国々の異なる文化のための出版(分科会)

① 翻訳問題

議長：クリスチャン・ブルゴワ(仏)

パネリスト：M・デル・コーラル(UNESCO)、ミゲル・アルズエタ(スペイン)、パク・キルブウ(韓)、アンテロ・シリオラ(フィンランド)

② アジアの出版

議長：前田完治(日)

パネリスト：山下正(日)、
呉軍(中国)、
R・C・ゴピル(インド)、
D・ブハイン(フィリピン)、
D・ジャヤコディ(スリランカ)



アジアの出版分科会(左から前田氏、山下氏)

③ ラテン・アメリカの出版

議長：エドアルド・カスティージョ(チリ)

パネリスト：ガストン・デ・ベドウト(コロンビア)、S・A・マシャド(ブラジル)、ユーゴー・ブリック(アルゼンチン)

④ 東ヨーロッパの出版

議 長 : G・ボグタ (ポーランド)

パネリスト : ビタリー・バベンコ (ロシア) 他

⑤ アフリカの出版

議 長 : ビクター・ヌワンクォ (ナイジェリア)

パネリスト : H・チャカバ (ケニア)、バジル・ヴァン・ルーエン (南アフリカ)、
H・コナテ (マリ)、J・トゥムシイメ (ウガンダ)

13:30 - 15:30

昼 食

15:30 - 17:00

異文化間交流 —— クロスカルチャーにおける出版者の役割 (全体会議)

議 長 : フィリップ・アッテンボロー (英)

コーディネーター : ミラグロス・デル・コーラル (UNESCO)

パネリスト : リネット・オーウェン (英)、ダニエル・ブーアスティン (米)、クリ
スチャン・ブルゴワ (仏)、前田完治 (日)、エドアルド・カスティ
ヨ (チリ)、G・ボグタ (ポーランド)、ビクター・ヌワンクォ (ナイ
ジェリア)

17:30 - 19:00

ニューメディアと本の将来 (全体会議)

議 長 : アンドレアス・ランゲンシャイト (独)

コーディネーター : ホアン・クエト (スペイン)

パネリスト : アルヌート・デ・ケンプ (独)、フランシ
スコ・デル・カリル (アルゼンチン)、キ
ース・ネットル (英)、アントニオ・アセン
シオ (スペイン)、ステファン・ゴッツ
(独)、鈴木正則 (日)、ジェローム・
S・ルービン (米)

鈴木正則氏

21:00 -

コンサート『カペラ・レイアル・ド・カタルーニア』

(ホルディ・サバル指揮、古楽アンサンブル、於・カタルーニア音楽堂)



カタルーニア音楽堂

4月25日(木) 終日旅行(参加者および同伴者)

8:30 出発

- ・「カバ」のワインセラー訪問、試飲と軽食
- ・モンセラット山、モンセラット修道院訪問
少年合唱団によるコンサート「エスコラニア・ド・モンセラット」
「カステラーズ」の展示見学
- ・サンタ・ペレ・ド・リベスにある「グラン・カジノ・ド・バルセロナ」
で昼食
- ・オプションとして、郊外の海浜別荘地、シッチェスを訪問



モンセラット山の奇景



人間の塔



“カバ”(発泡性ワイン)のワインセラー

4月26日(金)

9:30 - 11:30

討論：伝統的出版

議長：ペレ・ビセンス(スペイン)

パネリスト：イメルダ・ナバホ(スペイン)、ロジャー・カルティエ(仏)、カール＝オットー・ボニエル(スウェーデン)、C・ブラッドリー(英)

12:00 - 13:30

討論：マルチメディア出版

議長：ゲルマン・サンチェス・ルイペレス(スペイン)

パネリスト：マルク・ヴォスナー(独)、ホセ・アントニオ・ミラン(スペイン)、ジョン・ディル(米)、ブランカ＝ロサ・ロカ(スペイン)

15:30 - 16:20

新しい時代の考え方 — 21世紀直前の出版

議長：ジョセフ・M・ボアザロウ(スペイン)

パネリスト：ゴンザロ・ポントン(スペイン)、ジュリアン・ビニユアレス(スペイン)

16:50 - 18:30

閉会式議長：フェルナンド・グエデス(ポルトガル)
IPA会長**『出版は自由な創造と進歩の礎』**S・ストローム(ノルウェー)
出版の自由委員会委員長**特別講演**

講師：サルマン・ラシュディ(英)

決議の発表(全14項目 ⇒ 12頁以降)

新会長への引継ぎ

新会長：アラン・グルンド(フランス)

次回大会について2000年、アルゼンチン・ブエノスアイレス
において開催(日時・会場等は未定)。

21:00 -

お別れ晩餐会およびダンス・パーティー

(於・パラウ・ナシオナル・ド・モンジュイック、カタルーニア美術館、モンジュイックの丘)



S・ラシュディ氏



グルンド新会長



大会決議



I 校訂版の保護に関する決議

1996年4月22日から26日まで、60カ国からの参加を得てバルセロナで開催された国際出版連合第25回大会は、

文学・音楽の分野における文献的研究の困難、および出版者がわれわれの文化遺産を復刊する意欲を喚起することを圧迫している困難に対する懸念を再確認する。これらの困難は立法の不完全さに負うところが大きい。

出版者と著者は、文献研究、解釈、編集および発行の多大な寄与を認識し、校訂版に対する完全な保護を必要としている。

1993年10月29日のECディレクティブ(93/98/CEE)は第5条において、以下のとおり規定している。

「加盟国は、公有に帰している著作物の校訂版および学術的出版を保護することができる。保護期間は、初めて合法的に出版された後30年を最長とする。」

本大会は、

EU委員会に対して、加盟国が速やかに法的手段によって校訂版の保護を認めるようにディレクティブ第5条の適用を求める勧告を出すことを要請する。

また、世界中のすべての政府、ならびに地域的、経済的機関に対して同様の勧告を出すことを要請する。



II 図書館員との協力に関する決議

1996年4月22日から26日まで、60カ国からの参加を得てバルセロナで開催された国際出版連合第25回大会は、

過去のIPA大会、特に1992年のニューデリー大会の新たな電子的環境における図書館員との協力に関する決議に続き、

技術が新たなサービス、新たな製品、情報供給者のための新たなルールをもたらしている中で、出版者と図書館員は、購買者および顧客に対して彼らのサービスを提供する方法を再定義する必要に直面していることに注目し、

アナログの印刷環境と大きく異なる新たな電子的環境では、アナログの組版から一般に引き継がれているがデジタル環境では全く異なった意味を有する語彙や表現に、新たな意味づけが求められていることを再認識することを願い、

同様に、デジタル環境において公衆によりよいサービスを提供するために、両者の職業的役割と責任を相互に尊重することを要求し、

それゆえに、IPAの各会員協会がそれぞれの会員に対して次のことを奨励することを勧告する。

- 著作権者の権利を最大限に尊重しつつ、著作権情報を学者、研究者および公衆に提供するという共通の目的を達成するために、流通とサービスのためのネットワーク環境を利用する上で著作権を適切に尊重するというパイロット事業を図書館員とともに開発すること。
- 世界的な著作権法制に従って、著作物の通常の頒布に抵触するか、あるいは著作権者の正当な権利を理由なく害するような、いかなる利用も退けること。

III 国立図書館に対する納本についての決議

1996年4月22日から26日まで、60カ国からの参加を得てバルセロナで開催された国際出版連合第25回大会は、

デジタル形式を含むすべての形式による出版物は、国家の科学的・文化的活動と業績の主たる記録媒体であることを認識し、

国立図書館に対する納本は、かかる活動と業績の保存を保証するものであることを認識し、

国内で発行されたものの記録保存、書誌的管理およびそれらへのアクセスの目的が、著作者および出版者の正当な利益を害すべきでないことに留意し、

出版者は、それが義務であるか任意のものであるかを問わず、納本制度が次のことを確実に実行すべきであることを決議する。

- 1) 国立図書館自体の閲覧室は、納本された出版物を、オンラインかオフラインかを問わず上記の利益を損なわない方法によって、無料で閲覧できる唯一の場所として認められるべきであること。
- 2) 納本された出版物のそれ以上の利用については、著作者および出版者が同意した条件で行われるべきであること。



IV ISBNコードに関する決議

1996年4月22日から26日まで、60カ国からの参加を得てバルセロナで開催された国際出版連合第25回大会は、

25年間以上にわたって、ISBNコードおよびその他のコード体系がうまく利用されていることを考慮し、

世界中の出版者に対して次の事項を奨励する。

- ISBNシステムを採用すること
- 書籍出版分野におけるインフラストラクチャの創設および改善の手段として、これを利用すること。特に以下の点を留意する。
 - ・流通目録の創設または推進(書籍総目録の発行)
 - ・国内および国際的な注文システムの導入または推進
 - ・全国的な流通制度の導入または推進

また、各国政府に対して次の事項を要請する。

- 読書を奨励し、図書館制度を充実させ、書籍出版に適した環境整備を行う(例えば、関税と同様に、書籍に対する減税を認める等)ような国内の出版政策を創出し、支持することによって、出版および書籍販売を促進すること。
- 出版業の自由な発展を保障すること。特に、国家が行う出版活動によって不公正な競争を引き起こさないようにすること。